

## 令和5年度

### 第2回耳納市民センター多目的棟管理運営委員会議事録

- 日 時：令和5年11月22日（水）午後1時30分～2時10分
- 場 所：耳納市民センター多目的棟2階会議室
- 出席委員：深山委員、後藤や委員、古賀委員、弥永委員、田中委員、  
荒木委員、宮崎委員、森永委員、酒見委員、高木委員、  
以上10名
- 欠席委員：後藤イ委員、石橋委員、以上2名
- 事務局：市民センター担当次長 田中  
耳納市民センター所長 梅田、課長補佐 井手  
生きがい健康づくり財団（指定管理者）  
課長 主海、多目的棟館長 梶山  
委員会の傍聴者なし

#### 【1. 開会】

#### 【2. 委嘱状交付】

机上にて交付

#### 【3. 各委員自己紹介】

#### 【4. 正副委員長の選出】

委員長に深山委員、副委員長に後藤や委員を選出

#### 【5. 議題】

(1) 多目的棟施設の利用状況について（令和5年4月～令和5年9月 上半期）

（事務局）別紙資料1ページにより説明

概要

- (1) 施設毎利用状況では、令和5年度の利用者数は18,868名、令和4年度は17,717名で、106.5%と増加している。ホール、図書室、体育施設については大きく増加、会議室、トレーニング室はわずかだが減少となった。
- (2) 月別利用状況では、体育館の利用においては月別に増減はあるが、一定数以上の利用はある。トレーニング室の利用は季節的なものもあると推測されるが、気温の低い時期の4月、5月は少なく、外が暑い7月、8月、9月になってくると増加

しており、前年を上回る利用となっている。会議室の利用も増加していて団体の予約が入っていない時には、学生達の学習室として開放もしている。

- (3) 図書室利用状況の貸出者数、貸出冊数は、4月から6月はほぼ横ばいの状況、7月以降は増加しているが一番大きな要因は7月10日の豪雨災害により田主丸の図書館が被災し、閉館していたためかと推測している。

(委員長) 利用状況について、何か質問、意見があればお願いしたい。

(委員長) 特に質問、意見がなければ(1)の施設の利用状況については承認されたものとする。

## (2) 自主事業の取り組みについて

(事務局) 別紙資料 2～3ページにより説明

### 概要

1. 現代的・社会的課題に関する学習講座で多目的棟カレッジを2講座、多目的棟サテライト講座を1講座開催した。
  - ①の多目的棟カレッジでは、『ババちゃんのジジ(時事)放題』～政治・外交編～というタイトルで時事問題について講義形式で17名の参加(当日欠席者あり)、次に『福岡・久留米から宇宙へ』～地元企業の宇宙への挑戦～地元企業の方を講師に招いて講義を行い定員30名の参加をいただいた。2講座共に申込みが多かったために会場を多目的ホールに変更して実施した。
  - ②多目的棟カレッジサテライト講座はえーるピア久留米で開催している『えーるピアカレッジ』という事業があり、インターネット配信によりライブ形式で耳納市民センター多目的棟で受講することができる事業。『久留米発モノづくりの系譜』～モノづくり日本の礎を築いた田中久重～という講座を開催こちらの参加者は4名と少なかった。
2. 市民学習講座の①ライフステージ別講座は8講座。この講座は対象者を絞った講座となっていて、期間を1期、2期に分け、3か月ごとに区切って応募し実施している。
  - (No1)「パワーヨガ教室」は1,2期共に定員50名に対し38名の参加。人気の高い講座となっている。
  - (No2)「ピラティス入門教室」は働いている方にも参加しやすいように金曜日の19時からの開催としていて定員30名に対し1期15名、2期22名と増加している。
  - (No3)「夜のチャレンジ教室」も水曜日の19時から実施して定員18名に対

し、1期12名、2期16名と後半増加している。

(No4,5)「シニアかな書道教室」は第1、第3火曜日コースと第2、第4火曜日コースと2講座に分けて開催している。2講座とも定員12名に対し10名程度受講いただいている。

(No6)「えいごであそぼう」は小学校低学年を対象に7月から9月に開催し、定員12名に対し、10名受講。三瀨からなど遠い地域の方にも参加いただいている。

(No7)「小学生のための工作教室」は夏休みの時期の宿題を応援しようと7月23日、8月3日の2日間開催し、参加者も多かった。

(No8)「自主学习支援事業」は会議室の利用がないときに自主学习の場として活用してもらおうと開放している事業。延参加者は216名と多く、特に中間期末テスト前や7～9月の夏休み期間は多くの利用者があった。

市民学習講座②ライフスタイル別講座はどなたでも参加していただける講座。

(No1)「初めての水彩画色鉛筆画教室」は3か月おきに1期、2期に分けて募集し、定員一杯の参加をいただいている。

(No2, 3)「はじめてのウクレレ教室」は第2、第4金曜日に昼間と夕方と2教室実施している事業で6月までで終了している。

(No4)「はじめてのカリンバ教室」は当初7月から実施する予定だったが、カリンバという楽器が伝わらずに苦戦したが、どうにか9月から開催することができた。定員12名に対し11名参加していただいでいて、現在も開催中。

### 3. 図書室事業は2つの事業を実施。

(No1)「図書おはなし会(読み聞かせ)」は図書室を会場にえーるピア子ども交流の方を講師にお呼びし、5回で15名の参加をいただいた。

(No2)「耳納図書アウトリーチ事業」は近隣の社会福祉施設に図書司書が選書した本を30冊ずつこちらから出向いて貸出す事業。6か月間で540冊の本を貸出すことができている。

(委員長) 事務局より説明がありましたが、何か質問、意見などあればお願いしたい。

(A委員) 講座の種類はどうやって決められているのか。講師として教室をやりたいという方がいるのだが。

(事務局) 要望や集客性を考慮し、講師等の選定を行っている。リピーターが多い講座はなかなかやめたりすることができない。また参加者が集まらない講座に対しては、企画を練り直している。講師からこんな講座をやらせてもらいたいという要望もあるが、講座の集客性等を考えて、できる範囲で事業を行っている。

(B委員) 以前、ふれあい農業公園で水彩画教室に参加したことがある。そこでずっと同じ講座、同じ講師というのは駄目だということを聞いたことがあるが、基本的には耳納市民センター多目的棟の自主事業も同じなのか。

(事務局) 一部の人気のある事業については毎年行っているが、毎回募集し直している。リピーターの方も応募してくるが、定員を超えた場合には抽選になる。

(B委員) 利用者ではなく、同じ講座を長く続けていくことに対し、どう考えているのか。いろんな講座をやりたいという方がいるというが、長くやってきているのでこのままでいいという考えなのか、その都度考え直すという考えなのか。

(事務局) その都度考え直し、実施している。講座も長くなり、同じ方が参加しているのであれば自立してサークルでの活動を案内している。実際、絵手紙教室やウクレレ教室は自主サークルで活動されている。

(委員長) ほかに質問意見がなければ、議題(2) 自主事業の取り組みについては承認されたものとする。

## 【6. その他】

事務局より2点お知らせがある。

(事務局) 1点目 みノウ文化祭について

### 概要

耳納市民センター多目的棟では年1回のイベントとしてみノウ文化祭を計画している。昨年度、当財団として初めて文化祭を実施し、多くの方に参加いただき盛況だった。今年度も多くの方々に参加していただきたいと考えている。

日時：令和6年3月10日(日曜日) 10時から15時予定

会場：耳納市民センター多目的棟全館

内容：ステージ発表会 12団体程度

作品展示、体験コーナー、食事販売コーナー、図書関連コーナーを設ける。

ステージ発表、作品展示に近隣校区で活動されているサークルや個人の方も是非参加いただきたい。

(委員長) 事務局より説明がありましたが、何か質問、意見などあればお願いしたい。

(事務局) 2点目 次回の運営委員会について

概ね6月と11月の年2回開催し、次回は令和6年6月頃の予定。その時期に日程のご連絡をするのでご協力をお願いしたい。

本日は長い時間にわたり、ご審議ありがとうございました。

【7. 閉会】